

中部防災ニュース

平成31年
1月号

発行

静岡県中部地域局

電話(054)644-9104

メールchubu-kiki@pref.shizuoka.lg.jp



明けましておめでとうございます。

本年も、皆様の防災対策に役立つ情報を発信していけるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



重要です！！ 停電対策



昨年は全国各地で災害が多い1年でした。北海道胆振東部地震や台風24号による停電の被害は、大きな話題となりました。南海トラフ巨大地震が発生した場合も停電が想定されます。停電の際は、テレビやPC等はもちろんのこと、内蔵電池等がない光回線等の電話、水洗トイレにも支障が出ます。場所によってはATMやガソリンスタンドの給油機等が利用できなくなります。災害時の停電への備え等を紹介しします。

事前に準備したいもの

- ・ 懐中電灯（ヘッドライト、ランタン等もあると便利です。）
- ・ 乾電池、乾電池式充電器、モバイルバッテリー等
- ・ ラジオ
- ・ 携帯トイレ
- ・ カセットコンロ、ガス燃料
- ・ 水、食料
- ・ 毛布、カイロ、保冷剤等
- ・ 現金



出入り口や階段に蛍光テープをつけておくと、暗くても避難経路が分かりやすいね。

懐中電灯にも蛍光テープを貼っておけば、見つけやすいかもしれないね。

備蓄品の置き場所や使い方もみんな確認した方がいいね。

停電の時の注意点

- ◆ 照明や料理のために火を使う場合は、周囲へ引火しないように環境を整えてから使う。
- ◆ 地震による停電の場合は、余震やガス漏れ等にも備え、照明は懐中電灯等でなるべく確保する。
- ◆ 家庭用の非常用発電機を使用する場合は、屋内や屋外の換気の悪い場所での使用は避ける。
- ◆ 地震の場合には、避難で自宅を離れるときにブレーカーを落とす。電気コードが損傷していたり電気ストーブ等の周りに燃えやすい物が散乱したりすること等が原因で、電気が復旧した際に出火する危険があります。



太陽光発電システムや電気自動車等が役に立つ！

◆ 太陽光発電システムの活用法

災害時は自立運転への切替により、日中に発電した電気を専用のコンセントから使用できます。蓄電池がある場合は、より安定した電力や夜間等の使用も可能です。

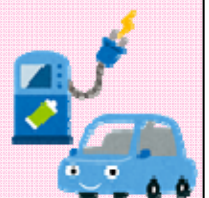
※自立運転への切替方法や使用可能な電気製品については、太陽光発電システムの製品や設置条件により異なります。説明書やメーカーへの問合せ等で確認しましょう。

※地震等で損傷がある場合には漏電等の危険の可能性があります。そのような場合の対応についても説明書やメーカーへの問合せ等で確認しましょう。

◆ 電気自動車・プラグインハイブリッド車等の活用法

装備されたコンセントを通じて電気を使用することができます。ハイブリッド車もエンジンを稼働することで発電された電気を使用することができます。

※車種によって装備や蓄電量が異なります。太陽光発電システムと同様、説明書やメーカーへの問合せ等で確認しましょう。



1.17 阪神淡路大震災から学ぶ

今から24年前に起きた阪神・淡路大震災では、犠牲者の約8割が建物の倒壊や家具の転倒による圧死でした。自分と家族の命を守るため、住宅の耐震化と家具類の転倒による被害の防止について、いま一度考えてみましょう。



住宅の耐震化

プロジェクト「TOUKAI-0（トウカイ・ゼロ）」をご活用ください！

- ◆昭和56年5月に建築基準法が改正される前に建てられた木造住宅は、耐震性能が低い場合があります。大きな被害を受けるおそれが大きくなります。
- ◆TOUKAI-0は、木造住宅の耐震化のため、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅を対象に、専門家による無料の耐震診断や、補強設計・工事費に対する補助を行っています。
- ◆まずは、お住まいの市町の担当課にご相談ください。各市町の担当課は、インターネットで「TOUKAI-0」「市町担当」のキーワードで検索するとわかります。

家具類の転倒による被害の防止

- ◆倒れた場合に大きな危険が想定される冷蔵庫・食器棚・タンス・本棚・テレビ等は、金具や粘着マット等で、固定しておきましょう。
 - ◆寝室や子供部屋等は、できるだけ家具を置かないようにしたり、置く場合には背の低い物を選んでみましょう。
 - ◆家具を置く場所や置く向きを工夫することで、家具が倒れた場合にも安全スペースや避難経路が確保できるようにしましょう。
- ※落下物や割れ物も危険です。重い物はできるだけ低い場所に置いたり、ガラスに飛散防止フィルムを貼ったりするなどの対策をとりましょう。

防災出前講座の御案内

中部地域局では防災啓発の一環として、防災出前講座を実施しています。講話はもちろんのこと各種演習も実施しています。

防災講話

- ・地震や風水害等ご要望に応じた内容で実施。
- ・地域の被害想定も、わかりやすく解説します。

応急手当講座

- ・当局の保健師による実技講座です
- ・ケガの応急手当やAEDの使用法が学べます。

地震体験

- ・地震体験車による震度7の揺れを体験できます。（揺れの強さは調節できます。）
- ・講話とセットの利用も可能です。

DIG（ディグ）

- ・地図を使って地域の危険箇所や避難場所等を確認したり被害想定を書き込んで、災害時をイメージしたりします。
- ・災害時の対応や事前の備えについて考えます。

他にも、HUG（避難所運営ゲーム）や災害時判断ゲームといった、防災について自ら考えるきっかけとなる防災ゲームもあります。自主防災会、事業所、学校などの防災訓練や研修の一環として、ぜひ御活用ください。少人数でも実施可能です。お気軽に御相談ください。



問合せ先

中部地域局

電話 054-644-9104

メール chubu-kiki@pref.shizuoka.lg.jp